

科目	情報処理演習
----	--------

担当者名 清家 拓実

教科	農業	単位数	2	学科・学年	生産科学科・3年
使用教科書	情報処理演習(自作教材)			副教材等	なし
授業の概要	①情報機器のIoT化に関する基本的な知識を習得し、農業におけるIoT活用方法を学びます。 ②多岐にわたる農業情報をICT技術によって主体的に活用する能力を育成します。			学習の目標	①身の回りの情報機器がインターネットにつながりIoT化する中で、基本的な知識を習得し、農業におけるIoT活用方法を学びます。 ②生産、販売、経営管理情報などの各種データを処理収集し、ICT技術により自らが主体的に活用できる能力を身につける。
学習内容				評価の観点・評価方法等(※学期ごとに下記の項目で評価します。)	
1学期	1 私たちの生活と情報 (1)身の回りの情報機器 (2)IoTで変わる私たちの暮らし (3)スマートフォンの活用 (4)クラウドストレージ (5)サブスクリプション 2 農業や食品関連産業分野でのICT活用 (1)農業情報とは (2)農業、食品関連産業分野でのICT導入で変化する事			関心・意欲・態度 思考・判断・表現	【趣旨】 情報機器のIoT化に関心を持ち、知識や活用方法の習得に積極的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 【評価方法】 授業や実技・課題への態度を評価します。 【割合】 1学期：10% 2学期：10% 3学期：10%
	2学期	3 プログラミング言語 (1)Webの仕組み (2)URLとは (3)Webブラウザ (4)ワイヤフレーム (5)Web言語HTML・CSS 4 インターネットを活用したマーケティング (1)SNSの活用 (2)ホームページの作成			技能
3学期		5 インターネットを活用した産業財産権の登録 (1)商標とは (2)商標の歴史 (3)商標の機能 (4)特許庁への商標登録 (5)Don't Fake Brand (6)商標の登録(電子出願)方法 6 ICTを活用したスマート農業の実践 (1)MOG-GAPシステムの活用 (2)パソコンを使用した農業日誌系アプリの活用 (3)マイコン系ハード、ソフト活用事例			知識・理解
	その他	学年の評価は、1学期、2学期、3学期の評価を総合して行います。			
課題提出物等	① 夏休み・冬休みに知識を問う課題を出題します。 ② 授業の内容に応じて適宜、技術習得を問う実技課題を出題します。				
担当者より	①身の回りのIoT化に関心を持ち、ICT技術についての理解を深め、農業及び社会における諸問題解決の方策を見いだす活用方法について学びます。 ②農業情報は多岐にわたり刻々と変化します。幅広い分野の知識とそれに対応する技術が必要となります。他の教科で学んだことも応用しながら情報を適切に処理し、活用方法を習得しましょう。				